

令和5年(2023)三寶院年中行事

1月1日(12月31日PM11:45より)

旧年から新年にまたがる丑寅勤行【丑の刻～寅の刻
にまたがって行う勤行】として行う為)

- | | | |
|--------|-------------------|---|
| 1月1日 | 13時 | 元旦勤行 初御講・御経日(本因妙の法を確認し、物故者・先祖・故人の追善供養) |
| 1月2日3日 | 13時 | 初勤行 |
| 2月3日 | 13時 | 節分会(世間一般の追儺の節分でなく、南無妙法蓮華經の法を根本とし天地の恵みと息災を御祈念し、全ての生命に十界互具として具わる仏性を福とし、地獄・餓鬼・畜生等の鬼の生命を退治するのではなく成仏させる仏法の意味から「鬼は外」を言わないで「福は内」だけの豆撒きをします。) |
| 2月7日 | 13時 | 日興上人会(芹御講) |
| 2月16日 | 13時 | 日蓮大聖人御誕生会 |
| 3月20日 | 13時 | 春季彼岸会(物故者・先祖・故人の塔婆建立と追善供養) |
| 4月1日 | | 御綿帽子下げ御襟巻上げ |
| 4月28日 | 13時 | 立教開宗会《この時点で日蓮大聖人は宗旨は建立されていないので宗旨建立会ではなく、日蓮大聖人の法華經の行者として旅立ち》 |
| 5月1日 | 13時 | 大行会(大石寺開基旦那南条時光祥月命日忌追善供養・御経日) |
| 6月1日 | | 御襟巻下げ 御団扇上げ |
| 7月22日 | 13時 | 日達上人御正当会 |
| 8月15日 | 13時 | 盂蘭盆会(物故者・先祖・故人の塔婆建立と追善供養) |
| 9月12日 | 13時 | 龍ノ口法難会(ぼた餅御講)
御団扇下げ 御襟巻上げ |
| 9月22日 | 13時 | 秋季彼岸会(物故者・先祖・故人の塔婆建立と追善供養) |
| 9月13日 | 13時 | 御講と合併し第38回三寶院法華講総会 |
| 10月1日 | | 御綿帽子上げ |
| 10月1日 | 13時 | 宗旨建立会(弘安二年十月一日出世の本懐・御経日) |
| 10月12日 | 18時 | 本仏日蓮大聖人御会式御逮夜【法華經説法・御流れ】 |
| 10月13日 | 13時 | 本仏日蓮大聖人御会式【信徒申状奉読】 |
| 10月15日 | 13時(コロナ感染状況により未定) | 本仏日蓮大聖人御会式【教区僧侶申状奉読・御華崩し】 |
| 11月15日 | 13時 | 日日目上人会(蕪御講)七五三参り |
| 12月13日 | 13時 | 日蓮大聖人御報恩納めの御講 |

☆毎日の勤行 朝6時夕6時

毎月 1 日 13 時 御経日（本因妙の法を確認する。化儀抄講義）

毎月 13 日 13 時 日蓮大聖人御報恩御講（テキスト日蓮大聖人御書の講義、6 月と 12 月は事前に信仰に関する質問を御信者さんから御寄せ頂き、それに答える質疑応答形式）

毎月 19 日 13 時 御題目講（勤行と 1 時間の御題目と法話。テキスト「法悦の日々」）

☆毎月 1 日 7 日 13 日 15 日 AM2 時 20 分～4 時 30 分の丑寅勤行も参詣は自由ですが、真夜中に参詣する往復の安全と御家族の理解がないといけませんので、良く話し合ったうえで、参詣される時には事前に（玄関を解錠しておく為）三寶院へ連絡して下さい。

☆参加自由宅御講と地域の宅御講は、グループに関係無く、どの宅御講へ参加しても自由です。信仰されていない一般の方の参加も歓迎します。

日蓮正宗の信仰上、一番重要で絶対参詣を心掛けなければいけない最重要の法要は 10 月 13 日（10 月 12 日 6 時御逮夜）の【本仏日蓮大聖人御会式御正當会】です。これを信仰の根本として、毎月 13 日の【日蓮大聖人御報恩御講】は、月命日の法要であります。

信仰とは【信・行・学・折伏】の四本の柱で成り立っています。

信じているけれども、修行はしない。法を学ばず、何を信じているのか分からない。折伏は信仰を他人に、押し付け、争い憎しみの原因になるので、信仰している事を隠し、信仰の話はしないという状態は、信仰ではありません。日蓮大聖人の仏法はこういう教えだから私は信仰していると隠さず信念として言える生き方をして下さい。信心の修行（朝夕の勤行、法を学ぶ）は生活の中で法を実践する為の基礎基本の行為ですから、修行の無い信心は信心ではありません。信仰とは生き方（実行・実感・考え方・価値観・目的観）であります。

法華経の行者として生きる姿が成仏です。

正しい信心をしていれば良いというのではなく、縁する人々に成仏出来る法と、出来ない法の正邪を明確に示し伝え、妙法の種蒔きをして妙法の縁を結ぶ、その為に折伏をしていかなければいけないのであります。創価学会の様な甘言や強要や脅しは折伏ではありません。自分の知っている仏法の全てを伝え、信仰をするかしないかは、相手の人が決める事です。自分で決断した信心で無ければ、信・行・学・折伏の生涯貫く事は出来ません。

その為にも、御寺に参詣し、日蓮大聖人の法と生き方を学び、自分の信仰心を深くする事を生活の基軸にするよう努めて下さい。

法事や御葬式の為に信仰しているのではありません。日々の生き方の為の信心です。

日蓮大聖人様曰く

「行学の二道を励み候べし、行学絶えなば仏法はあるべからず、我もいたし人をも教化候、行学は信心より起こるべく候、力あらば一文一句なりとも語らせ給うべし」

◎ YouTube で廣田頼道で検索して頂くと、今迄の法話を聴く事が出来ます。

◎ 三寶院ホームページには、今迄の論文が載せてありますので、自由に読んで、日蓮大聖人の法を正しく理解してください。

◎ 手紙、メール、電話等々どんな方法でも結構ですので、気軽に信仰に関する質問、悩み、迷い、何でも連絡して下さい。